

1. リスクのクスリ

このコーナーではリスクマネジメント(危機管理)に係わる情報を提供したいと思います。最近リスクという言葉が社会に氾濫していますが、ここではリスクマネジメント上のリスクの意味をもう一度整理してみたいと思います。

リスクとは、まだ発生していない潜在的損失のことを言います。

これは、ロス(金銭的損失)が未だ発生していない状態で、かつロスが発生する可能性がある状態のことを言います。

リスクとは辞書を紐解きますと、危険という意味の他に冒険とか暗い海に船を漕ぎ出す意味もあります。なぜに、人間はリスクに挑戦するのか…それは、その背後にリターン(精神的・金銭的報酬)があるためです。昔の諺に「虎穴に入らずんば、虎児を得ず」があります。これはまさにリスクの説明の的を射た諺ではないのでしょうか。

規制緩和がどんどん進んでる現在、リスクを避けるだけでは適正なリターンが得られなくなっています。リスクマネジメントを勉強し、リスクと上手に向かえば将来は開けると思います。

2. FPまいんど

このコーナーではFP(ファイナンシャルプラン、財務計画)に係わる情報を提供したいと思います。

ファイナンシャルプランナーという職種が社会的に認知され、昨年はFP職種が国家技能検定も導入され、ファイナンシャル・プランニング技能士資格が制定されました。

ファイナンシャルプランナーの仕事は、お客様のライフプラン上の目標を成就(ファイナンシャルゴール)することを第一の目標としている。

ライフプランにより、自分では気が付かなかった生活上のリスクや問題点などを現状把握でき、目標が明確に意識され、目標達成により近づくことが出来ます。

ファイナンシャルプランナーは会員の倫理規定も厳しく、法令遵守、守秘義務はもちろん、業務に責任と誇りを持ち、専門家として業務を誠実に提供しなければなりません。

また、常に専門知識、技能、能力の向上に努めなければなりません。そこで、資格の更新時には継続教育単位の取得(2年間で15~30単位以上)が義務づけられています。

3. 保険DE運用

保険商品は保障機能だけではなく、長期の資産運用に向いています。歴史上まれにみる低金利時代では、いままで注目されなかった商品まで、有利となっている場合もあります。

今回はソニー生命(S&P格付けAA-)の積立利率変動型終身保険を紹介します。

条件、被保険者：60歳女性、払込方法：全期前納(3年年払)、保険金額200万円

積立利率は変動しますが2%は最低保障されますのでここでは2%の場合の表示

保険料(前納一括)	1,326,699円
3年後解約返戻金	1,350,000円(年平均利回り0.585%)
5年後解約返戻金	1,390,000円(年平均利回り0.954%)

10年後解約返戻金 1,492,000円(年平均利回り1.246%)
 20年後解約返戻金 1,692,000円(年平均利回り1.377%)

注:保険料、解約返戻金とも被保険者の年齢、性別、保険金額により異なります。

現時点での税制では5年以下の保険期間では、源泉分離課税。

5年超の保険期間の場合、一時所得扱いとなります。

ご覧の通り、最低保証型の商品のなかではかなりの高利回りです。しかも、最低利率での表示ですので、債権市場での金利が上向けば更に高利回りが期待出来ます。

また、終身型なので満期が無く、自分の都合の良いときに解約ができます。

5年を超して運用した場合、一時所得扱いとなるために、その年に他の一時所得が少ない、または、無い年に解約する事により税コストは軽減、または、0円になります。

保険金額が高額(500万円、1,000万円以上)となると高額保険金額割引が適用され利回りは更に高くなります。

4. 新商品紹介

アリコジャパンからUSドル建個人年金保険(レグルス)が発売されました。

資産運用では通貨の分散化も効果的です。世界的基軸通貨のUSドルはまさに分散化の一つとして代表的な外貨となります。

レグルスは一時払い専用商品で、最低1万ドルから500万ドル(64歳以下)まで、契約年齢は0歳~80歳まで、契約時の据置期間は7年または10年となります。

レグルスは、当初選択された据置期間中は積立利率が保証されます。10年の据置期間を選択された方には初年度積立利率1%上乗せボーナスがあります。

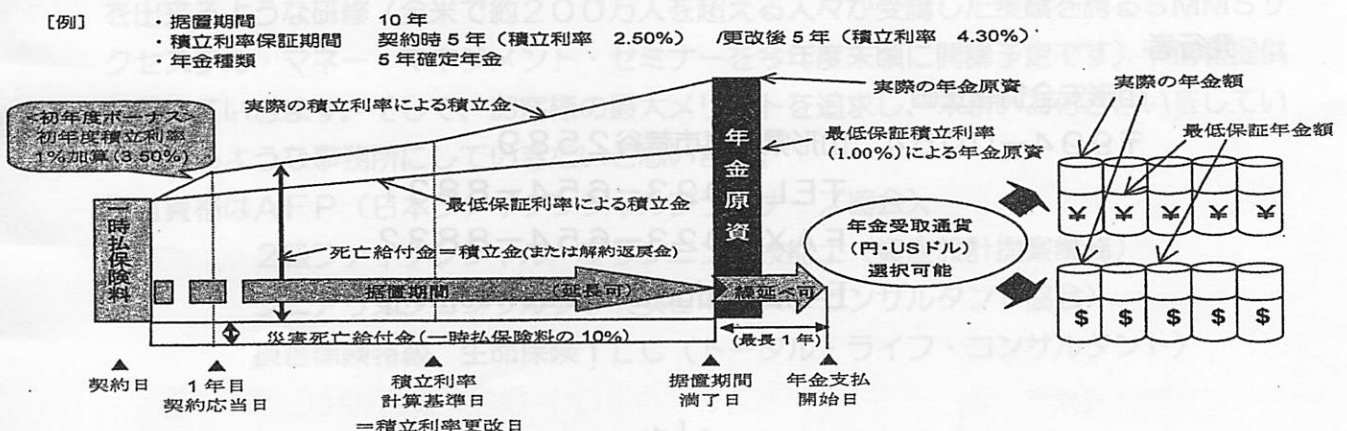
受取方法として、一括はもちろん多彩な年金受取方法があります。

また、据置期間を最長40年かつ90歳まで延長ができますので、為替リスクを軽減する効果が期待出来ます。

契約時の積立利率は半月毎に変わります。ちなみに5月1日~15日の場合、据置期間・積立利率保障期間7年の場合2.39%。同10年の場合2.9%(初年度は3.9%)
 16日以降の利率のご確認は16日以降にお問い合わせ下さい。

しくみ図

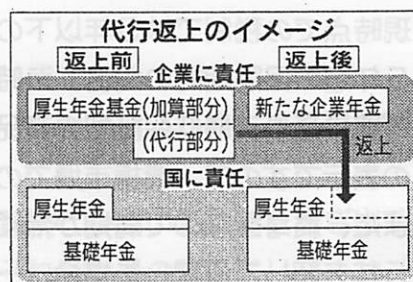
<積立利率変動型個人年金保険(災害10%加算型 米国通貨建)「レグルス」概念図>



5. キーワード

代行返上

代表的な企業年金である厚生年金基金には、国に代わって公的年金（厚生年金）の一部を運用、給付している代行部分と呼ばれている資産がある。これを国に返すことが代行返上だ、厚生年金の運用は3年連続してマイナスで、代行部分をかかえたままでは基金の母体である企業にとって負担が重くなっていた。確定給付企業年金法により昨年4月から代行返上が認められるようになった。



基金は積み立て済み資産のうち代行給付義務に相当する額を返す必要がある。実際に返上が始まるのは今秋からで、現金のほか株式などでの物納も可能。物納は東証1部上場銘柄に限定するなど成約が多くなる見通し。このため基金の間で保有株を換金する動きが始め、株価下落の要因になっている。

6. お知らせ

6月16日（月）午後6時30分より、山形ビッグウイング4F中会議室にて、フォレスト出版社のベストセラー「小さな会社★儲けのルール」の著者、栢野克己様（共著はランチェスター経営の竹田陽一氏）を迎え大講演会を西塔社会保険事務所主催で開催されます。中小企業に元気をもたらし、実践的な話が聞かれると思います。

会費は3,000円（返金保証付）です。私も行きます。

お申し込みは当事務所または別紙の用紙にて西塔事務所まで。空席わずかです、お早めに。

7. 最後に

皆様ニュースレターはいかがでしたか。暗中模索しながら作成してましたので、解りにくい事や、適切な表現になっていない事も多々あるかと思っておりますので、皆様のご批判、ご指摘、ご指導、ご意見をよろしくお願い致します。

発行者

山形安全情報企画

〒994-0054 山形県天童市荒谷2589

TEL 023-654-8831

FAX 023-654-8832

E-mail tide@mm.neweb.ne.jp